

# きよさと 組合だより

JA 清里町

No.387

## 謹賀新年



### 11月30日 第11回JA清里町収穫感謝祭開催

年頭のご挨拶	清里町農業協同組合代表理事組合長 三上 博由…2
令和7年の年頭にあたり	
北海道農業協同組合中央会代表理事会長	樽井 功…4
新年のご挨拶	清里町農民連盟委員長 桑島 義幸…5
新年のご挨拶	ホクレン 斜里原料所所長 東松 隆二…6
新年のご挨拶	網走農業改良普及センター 清里支所支所長 荒井 邦浩…7
新年のご挨拶	清里町農協青年部部长 塩澤有希也…8
新年のご挨拶	JA清里町女性部部长 伊藤 清己…9
第11回JA清里町収穫感謝祭開催	自動車展示会開催…10
農業資材センター5周年記念セール開催	全日本自動車整備技能競技大会で全国一位を受賞…12
交通安全講習	業務改革・改善提案表彰…13
廃プラリサイクル回収	永年勤続表彰…13
永年勤続表彰	年末・年始(正月)のATM稼働状況のご案内…14
年末・年始(正月)のJA共済からのご案内	年末・年始の業務日程について…15
JAカレッジ学生募集のご案内	中途採用職員紹介…16
東野ひでき北海道後援会の活動経過	理事会の経過をお知らせ致します…17
組合員状況	JA広報通信「シエフ永井のおすすめ」…18





# 年頭のご挨拶

清里町農業協同組合

代表理事組合長 三上博由



# 謹賀新年



新年あけましておめでとうござ  
います。令和7年の年頭にあたり  
まして、新春のご挨拶を申し上げ  
ます。

組合員並びにご家族の皆様におか  
れましては、健やかに希望に満ち  
た輝かしい新年をお迎えのことと  
お慶び申し上げます。また旧年中  
はJA清里町事業運営に對しまし  
て多大なるご理解とご協力を賜り  
厚くお礼を申し上げます。

令和6年の始まりは元日に能登  
半島地震が発生し、建物倒壊と人  
的被害が拡大するなど社会的に多  
大な影響を及ぼしました。さらに  
同地域で9月に集中豪雨が発生  
し、地震で緩んだ山間地帯の崩壊  
と河川の氾濫等によって農業被害  
がさらに拡大したところと、被  
害に遭われた皆様に改めてお見舞  
いを申し上げます。世界規模では  
地球沸騰化の時代に突入、ロシア  
のウクライナ侵攻が長続き、中東  
情勢も深刻化、世界情勢の混乱と  
不安定感が招いた原油高騰や食料  
供給事情の変化と円安等による物  
価高騰が続いており、一般社会に  
おいて経済変化時代に突入してい  
ます。私たち農業界でも配合飼  
料・肥料をはじめとした生産資材

の高止まりが農業経営に甚大な影  
響を及ぼし、さらに経営所得安定  
対策制度の改訂から2年目とな  
り、特にてん菜においては令和5  
年産の低糖分値の影響で交付金が  
大きく低下し、組合員経済もかつ  
てないほどの厳しい経営環境を想  
定した年の始まりとなりました。

政府は令和5年度末に食料安全  
保障大綱の改訂と、基本法見直し  
の方向性で「農政を抜本的に見直  
す」姿勢を明確にし、昨年6月四  
半世紀ぶりに「食料・農業・農村  
基本法」が改正されました。基本  
理念に「食料安全保障の抜本的な  
強化」を大きな旗として掲げ、今  
後5年間を目標に基本計画の設計  
を検討する年となりました。これ  
に對しJAグループ北海道は持続  
可能な北海道農業を目指し、諸問  
題を解決すべく要請活動を展開し  
て参りました。

昨年末に令和6年度農林水産関  
係補正予算8678億円が対策さ  
れましたが、主に水田の畑地化事  
業と低迷する畜産関連への支援が  
緊急とされた形となり、内容とし  
ては共同施設合理化対策・水田畑  
地大区画整備などに重点を置いて  
他に、畑作物生産体制確立・強

化緊急対策事業等に118億円が盛り  
込まれ、そのうち糖価調整制度安  
定運営緊急対策交付金60億円を設  
けて頂きましたが、さらにこれか  
らの基本計画の確定まで要請活動  
は重要とされることと致す。

さて昨年を振りかえりますと令  
和6年度事業に於いて、4月9日  
に通常総会を開催し、組合員皆様  
に全議案ご承認を頂き、新役員体  
制のもと新年度を開始させて頂い  
たことができました。4月下旬の春耕期も  
順調に始まり、5月は雨に阻まれ  
た時もありながらも無事時き付け  
を終了し、以降好天に恵まれ良好  
な作物生育状況で推移しておりま  
した。昨年は7月までの積算温度  
が前年を上回り、小麦の収穫は前  
年より1日早い7月22日から刈取  
開始となりました。暑さの影響で  
赤さび病の蔓延が心配されたもの  
の秋播き小麦は10・76俵、春播き  
小麦は8月20日刈取開始で7・03  
俵、ともに基準値におさまる良品  
質で全量1等Aランクとなりました  
。麦作集団再編による連携体制  
を發揮し、適期収穫で良品質の小  
麦を生産する事ができましたこと  
にお礼を申し上げます。  
でん原用馬鈴しよは9月1日に

## 清里町農業協同組合

会長理事	石井 透
代表理事組合長	三上 博由
専務理事	工藤 一仁
理事	佐藤 弘康
	中平 哲也
	伊藤 洋喜
	橋 裕城
	新輪 勝信
	南出 修
代表監事(員外)	寺島 和男
次席監事	塚田 勉
常勤監事	田島 祥子
参事	白戸 豪将
	他職員一同

工場操業を開始しましたが、やはり高温の影響で8月下旬頃にはコナヒメの黄化が進み、収穫始めには枯凋した圃場が散見する状況となり、全体的に収量低下の要因となりました。今後のさらなる栽培方法の探求と新品種開発が急務となつていきます。結果としては9月以降夜温が下がり、寒暖差の効果により平均19.6%のライマン価となり、最終的には計画を上回る75万6千袋を製造することができました。一昨年来約10万袋上回る成果で、厳しい需給環境の中において、ごん粉供給に貢献することができました。皆様の日頃の肥培管理努力と工場安定操業への協力による賜物と感謝いたします。全道的に馬鈴しょ生産は加工用が増加している一方で、ごん粉原料用・種子用については減少傾向にあります。ホクレンは糖化用は輸入トウモロコシ市況と為替の影響を受けて高い水準が続いていますが、化工用・固有用途は輸入でん粉と競合しているため値上げ交渉を行い、令和5年1月の10%値上げに続き、10月には15%値上げを実施、昨年10月に8%の値上げをし、さらに輸送諸経費増加分を補うために固有用途格差金として支援する事となり、所得性の向上を図つてきています。当組合では生産者皆様の努力により、昨年より35ha増反していただいております。2100ha作付け目標と生産振興策を図りつつ、ごん粉生産主産地として安定供給に努めていきたいと思つておりますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。ごん粉の発生が毎年常態化するなか

で、生産者の皆様は最大限の資材投下により蔓延をくい止めた状況でした。平均並みの平均反収となりましたが、糖分値は15.8%と基準値には及ばず、今一步所得性を欠く結果となりました。気候に対応した栽培技術と品種の改良を求めるところですが、畑作3品総合して生産資材を必要量以上には削減できず、政策支援を求めざるを得ない状況です。豆類は大豆生産組合を中心にコンバイン2台体制を有効に推進した生産体制を展開し、順調に収穫を進め好結果となりました。オホーツク管内で作付面積が増加しており、生産量も大豆・雑豆で過去最高の25万俵の集荷状況となつています。今後ともオホーツク・ピーンズ・フアクトリーを中心とした有利販売の展開に努めていきます。が、今後増反傾向にあることから集荷保管方法に工夫が必要とされる状況であり、推進を図りつつも計画性を持って進めて参りたいと考えております。小豆は好天に恵まれ良好な登熟を迎え、障害なく収穫を終えることができ、また、大豆・小豆とも乾燥機導入の効果により高品質な製品となりました。青果類も玉葱・長芋は安定した収穫高となり、市場相場の高騰から良好な結果となりました。しかし青果物全般に今後の生産維持に於いて労働力不足という大きな課題があります。現在ディワークアプリによる人材確保に取り組みしております。生産維持のため労働力の確保対策を常に取り組んで参ります。酪農畜産に於いては乳価は関係団体要請活動の成果で上

昇傾向となつていているものの、生産抑制解除はされましたが、やはり配合飼料価格の高値水準は依然続き、利益回復は厳しい状況となつております。さらに生産者の減少や生産体系の見直しによる生乳生産量は減少傾向となつており、個体販売においてもコロナ前の5.6割程度の価格が続き、肉畜も消費減退から依然価格が上がらず、肉畜生産にも影響を及ぼす状況が続きます。酪畜全般に厳しい時が続く状況です。令和6年の農業生産の結果として、大きな災害や事故がなく無事平年を維持したところですが、経費の増大分の所得性は低下しているところと見られます。日本全国で農業者の減少や災害・猛暑による生産量の減少となり、北海道・清里町でも政策支援を必要としております。国も私たちの要請に様々な対策・対応をして頂いておりますが、まだまだ要請に対して十分な対応はなっていないと思つております。本年度オホーツク農業振興の要請課題は、畑作分野で小麦において輸送船の流通問題として港から輸送が滞る状況にあり、産地保管量とコストが高んでいる事、小麦・大豆ともに需要拡大と国産品への置換えと適切な価格形成が必要である事、国産でん粉は需要に對して生産が伴わないのは所得水準が低い事であり、生産意欲に向けた支援が必要である事、ごん粉は安定生産に向けた令和9年産以降の方向性と安定生産対策、酪農分野は畜安法の不公平解消と意欲をもつて搾乳できる酪肉近の水準の引き上げ、生産基盤を維持するためのクラスター事業の再開な

どが挙げられます。主立つ要請活動の他、地域の問題を掲げて要請活動に取り組み、真の「食料・農業・農村基本計画」の確立が構築されるよう努力して参ります。新年度を迎えるにあたって、第10期中期計画を終え、第11期総合5ヶ年計画に入ります。「健土黎明」をタイトルとして計画しているところと見られます。今後高温気象の環境下に対応できる「土づくり」の上に新しい技術を取り入れた輪作体系が重要です。地域農業を動かす人づくりと合わせて「健土」を基本に、組合員の農業所得の維持・向上とJA経営の安定化を両立しなければなりません。食料安全保障への先行きを国がしっかりと導いて頂ける事を願い、地域課題の解決に取り組む「次世代につながる持続可能な農業経営の実現」、令和の開花「黎明」となるよう中期計画構想をまとめていくところです。第31回北海道大会の決議事項「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」の実現と合わせ、目標達成に向けて組合員とJAが常に対話を行いながら、そして組合員と共に役員が「一丸」となつて取り組んで参りますので、組合員各位のご理解とご協力、またより一層の系統結集をお願い致します。結びに、本年が天候に恵まれ実り多い一年となります事と、組合員とご家族の皆様がご健勝であります事をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



年頭のご挨拶



# 令和7年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

樽井 功

今年3月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めております。

JAGグループ北海道としては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しする力強い政策支援を求めていくことが重要と考えております。

また、昨年は第31回JAG北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「JAGの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリパークシオン北海道の推進による農業・食・JAへの理解醸成」の3つの議案を決議いたしました。

今後、議案の達成に向けて、組合員・JA・連合会が一丸となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、JAの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組んでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、JAGグループ北海道統一の情報発信のフレイズである「アグリアクシオン北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・JAに対する理解を深めていただき、JAGグループが提唱する「国消国産」の認知を広めてまいります。

結びになりますが、本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると云われ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われています。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年

となりました。

近年、気候変動などによる自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」などの実現が盛り込まれました。政府は、初動5年間で農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、



年頭のご挨拶



# 新年のご挨拶

清里町農民連盟

委員長 桑島義幸

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より農民連盟の運動に際し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、比較的融雪も早く春耕も順調な始まりでしたが、近年の猛暑の影響により農作物の管理には苦勞されたものと思われます。また、全国的にも気候変動による自然災害が多発する年でもありました。国際情勢に目を向けると未だやまぬ国際紛争や急激な円安による肥料や飼料などの資材高騰により、農業経営に大きな影響をもたらしております。

す。そのような中、国内では岸田首相から石破首相に代わり、アメリカではバイデン大統領からトランプ大統領に、世界各国で首相大となり、今後の国際貿易交渉にどのような影響があるのか注視しなければならず、特にCPTPP協定では英国を皮切りに、中国、台湾、EUアドル、コスタリカ、ウクライナの6カ国より追加申請がなされております。今後は申請国の参加協議が加速化することが見込まれ、多くの農産品が輸入される実態を踏まえ、関税撤廃・削減とならないよう加盟協議に対し、慎重な対応をすることを求めています。

国内においては、昨年、食糧・農業・農村基本法が改正され、今後、食料安全保障・持続可能な食料システムなど、政府は検討を進めております。また、10月に行われた衆議院選挙では、与野党が逆転する結果となり、今後の農政に大きく影響するものと思われるます。

清里町農民連盟としては、昨年の総会で承認を得た執行委員定数削減により、執行委員18名顧問1名での活動を行ってまいりました。町内対策では町道の支障木の伐採、防風保安林の整備、シストセンチュウ対策、種子馬鈴薯団地の保護、鳥獣対策など、清里町議会には肥料・飼料・生産資材高騰対策での要請を行い、また、昨年は初めて清里町議会の議員懇談会も行いました。ホクレン中斜里製糖工場との懇談では2024年問題のトラック輸送の課題などを話し合ってきました。その他北見地区・道農連での農水省との意見交換などを行い、農家の声を直接伝えることができ、今後も継続して活動をしてまいります。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして実りある穏やかな年であり、益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。



年頭のご挨拶

# 新年のご挨拶



ホクレン斜里原料所

所長

東松隆二

新年あけましておめでとうございます。  
令和7年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。  
皆様には、日頃よりてん菜生産振興・製糖工場運営並びに原料所活動に対し、特段のご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。  
令和6年産のてん菜作況につきましては、播種定植作業は概ね順調に開始され、生育は順調に推移しましたが、6月以降気温が高く推移し褐斑病が発生しました。収量は平年を上回る10a当たり7t

を超えましたが、糖分は平年より低く16%をやや下回る結果となりました。褐斑病が多発し低糖分であった一昨年よりも最低気温が高くなる傾向が顕著な環境であったにもかかわらず、褐斑病の発生を抑え糖分が高い結果になったことは、組合員、関係機関の皆様の日頃からのご努力と肥培管理等の成果であり、感謝申し上げます。  
てん菜の輸送につきましては、昨年工場直送にカーダンパー装置を導入し、これまで稼働できなかった平ボディー車を活用することで車両確保を図りました。平ボ

ディー車の活用に加え、大型車両が増加し、必要な車両台数を確保することができ、製糖工場の操業は一昨年より3日遅い10月11日から開始となりました。しかし、2024年問題として懸念されたトラック稼働時間の制限、積載量の低下、悪天候による輸送効率低下の影響と、当初計画よりも生産量が増加したことが重なり、輸送遅延が発生してしまいご迷惑をお掛けしました。また、収穫時期は天候が悪い日もあり、組合員の皆様は収穫作業に苦労された1年であったと思えますが、輸送予定日までの原料収穫にご協力いただき誠にありがとうございました。更に、悪天候時の輸送に備えた火山灰の準備に対してお礼申し上げます。  
令和7年以降もトラック台数の確保が大きな課題となります。今後ますます大型車両が増加することが予想されるため、大型車両が稼働しやすい環境整備にご協力をお願い致します。ストックポイント整備やストックポイントへの原料運搬・堆積など組合員や農協の

皆様のご協力が必要となりますので、引き続きよろしくお願い致します。  
さて、砂糖情勢につきましては、作付面積抑制の影響により令和6年度の作付面積が大きく減少され、令和7年度も面積減少が懸念されますが、生産基盤維持に向けて、全道で50、500haの確保に努めることが道畑青対にて確認されています。肥料価格は依然として高く、褐斑病防除回数増による農薬コストの上昇など厳しい環境になっていますが、てん菜は輪作体系に欠かせない作物です。てん菜の生産基盤維持は皆様の持続可能な営農に大きく貢献できるため、ホクレンでは新品種の開発・栽培技術向上に取り組みしていきます。皆様の期待に応えられる工場を目指してまいりますので、本年もご協力をお願い申し上げます。  
末筆になりますが、本年1年が災害・事故がなく豊稔の秋となること、農協や組合員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

# 新年のご挨拶



網走農業改良普及センター  
清里支所

支所長

荒井 邦 浩

新年明けましておめでとうございます。  
います。

皆様におかれましては、ご健勝で希望に満ちた2025年の新春をご家族とともに迎えられることを心よりお慶び申し上げます。また、皆様には日頃より普及センターの活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の気象と農作物の作況を振り返ってみますと、生育期間を通じて高温傾向となりましたが、一昨年のような農作物への大きな影

響はありませんでした。

融雪期は平年より3日早く、その後も高温で推移しましたが、4月下旬から5月上旬にかけて断続的な降雨により馬鈴しょの植付作業、てん菜の移植作業がやや遅れました。また、5月下旬も断続的な降雨により豆類のは種もやや遅れましたが、その後は高温となり順調なスタートを切ることができました。

秋まき小麦の生育は出穂期で1日遅れましたが、その後高温に経過したため、成熟期は平年より2

日早く迎えました。病害については5月頃に縞萎縮病の発生、6月下旬には高温の影響により赤さび病の発生が散見されました。粗原収量は平年をやや下回りましたが、製品率が平年を上回り、製品収量は平年並となりました。

馬鈴しょでは植付作業がやや遅れたものの、その後の高温により開花期以降は平年並の生育ステージを迎えました。8月上旬に軟腐病が散見されましたが、病害虫の大きな被害も見られず、収量・てん菜ともに平年並となりました。てん菜も移植作業が4日遅くなりました。また、その後の高温により根部肥大は順調に進みました。9月に褐斑病が散見され、糖分はやや低下しましたが、収量は平年並となりました。

豆類については、大豆小豆ともに出芽期で5日遅れましたが、その後順調に生育し、大豆の開花期は早4日、小豆は早2日となりました。大豆の草丈は平年比88%と低く倒伏もなく順調で収量も平年を大きく上回りました。小豆の草丈は131%と徒長し、莖葉の成熟遅

れによる莖先熟の発生で収穫が遅れるなど、収量・品質は平年をやや下回りました。一方で飼料作物は収量・品質とも平年作を確保できました。

昨年、一昨年のように厳しい気象条件の中、皆様は作物の生育に合わせた栽培管理にご尽力されたことと思います。今後も異常気象（高温、豪雨等）に対応できるよう、皆様方が日頃から実践している土づくりや輪作体系の確立、高い栽培管理技術を持って立ち向かっていただきたいと思っております。まさに「温故知新」です。

普及センターとしまして、地域の諸課題に対し皆様とともに、町やJAなどの関係機関と連携強化し活動を推進します。

職員一同、皆様方の農業経営の向上及び地域農業の振興に力添えできればと考えております。皆様にとつて、本年が輝かしく豊かな年となりますよう、併せて皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

# 新年のご挨拶



清里町農協青年部  
部長

## 塩澤 有希也

謹んで新春をお祝い申し上げます。

日頃より農協青年部活動に對しまして、農協、各関係機関の皆様には多大なるご支援、ご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。また、深いご理解のもと、青年部の活動にご協力いただいております青年部部員、ご家族の皆様におかれましても重ねてお礼申し上げます。

昨年度の青年部活動を振り返りますと、ようやく新型コロナウイルス感染症の影響を感じる事なく、活動の幅をコロナ禍以前に戻すことができたと感じております。食育事業である、清小楽しい

キッズスクール農園では、本年度も子ども達が馬鈴しよの植え付け・観察・収穫を季節を通して経験し、生きていく上で必要な「食」に対して生産過程を学び、考えるきっかけ作りができたと感じております。また、食育事業の一環として、清里町の栄養教諭の方にも馬鈴しよの収穫作業を体験していただきました。例年行っておりません農畜産部、農政部での学習会、各関係機関との懇談会では本年度も青年部員の農業、農政の知識を深めることができました。

研修ではJA北海道信連と農研機構北海道農業研究センターを視察させていただきました。昨今の

厳しい農業情勢をふまえ、信連事業についてJA北海道信連で研修できた事は大きな財産となりました。農研機構では露地野菜についてと農作業安全について学びを得ました。特にVR機器を使用したリアルな農作業事故の体験は、農作業事故が増加していることから、とても良い研修となったと思っております。

そして、農協、各関係機関の皆様に参加していただきましたスポーツ交流会におきましては、本年度は役場職員の方も招待し、総勢14名での開催となりました。競技も盛り上がり、懇親会も含めて親睦を深めていただけたと感じております。ふるさと産業祭りでは、食用馬鈴しよと清里ソースやきそばの販売をさせていただきました。地域の皆様方との貴重な対話、交流の場として有意義な活動となりました。

青年部部长としては、オホーツク農業青年部協議会主催の道外視察研修と、ホクレン中斜里製糖工場区域内でん菜振興協議会主催の海外視察研修にも参加させていただきました。海外視察では、ドイツ、ベルギーでの製糖工場、種苗会社、農業機械メーカーの視察をさせていただき、道外視察では農水省、武部新代議士、カルビー、ホクレン、地上編集部との意見交

換を行いました。どちらの研修でも貴重な体験をさせていただき、部長として部員とこの経験を共有し清里町農業の一助になればと思っております。

農業情勢は依然として厳しいものではございますが、盟友との結束を高め、一丸となって乗り越えていきたいと思っております。

最後になりましたが、農協、各関係機関の皆様には今後とも更なるご指導、ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様にとって豊かな実りの多い年となりますよう、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

清里町農協青年部	
部長	塩澤 有希也
副部长	前中 裕登
書記	塩澤 芳樹
會計	工藤 翔大
代表理事	岡崎 智仁
理事	橋立 真輝
	島山 幸樹
	伊藤 稔嗣
	瓢子 賢人
	菅原 大和
	浅井 雅志
監事	佐藤 恭祐



年頭のご挨拶



# 新年のご挨拶

JA清里町女性部

部長

## 伊藤 清己

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、JA清里町女性部活動に對しまして、JA清里町をはじめとする各関係機関の皆様方、女性部員の皆様方、さらにはそのご家族の皆様方におかれましては、日頃より深いご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、天候による大きな被害もなく、順調な春のとき付けに始まり、小麦・芋・ビートなどの収穫と農作業も順調に進んだ年だったと思います。

そのような中、女性部の活動はレクリエーションから始まりました。大勢の参加をいただき、催し物などで大変盛り上がることで

き、さらなる親睦を深めることができました。

視察研修では、札幌へ2泊3日でロイズカ力オ&チヨコレートタウンの見学、コカ・コーラボトリングでは、SDGsの一環として、コーヒーの粉を再利用した石鹸作りをして来ました。その他、青少年科学館、KUBOTA・AGURIFRONT、エスコンフィールドの見学など、飛行機移動でより多くの視察ができ、大変充実した研修となりました。

研修大会では、ここ近年有害鳥獣による人や畑への被害が増加傾向にある事から、「熊や畑を荒らす生物の生態と対策」と題しまして、知床財団の方を講師に招き、講演をしていただきました。畑を歩くことの多い女性部員にとつて、大変興味深い内容となりました。また、各支部による手の込んだ

素晴らしい作品も展示されました。

産業まつりと収穫祭では、どんぶり団子焼きを行いました。慣れない事もあり、アカシヤ部会のご協力をいただいて講習会を行ってからの参加としました。

町外での活動としまして、近隣三町による懇親会、そして部長研修では常広方面へ1泊でJA中札内村枝豆加工処理施設等の見学。北海道「家の光大会」では、初めての試みとなります。特産品をPRする「農業ガールズコレクション」にオホーツク「家の光大会」では、70周年記念式典に加えて、気象予報士により「天気と農業」についての講演などがありました。

フレッシュユミズ部会では、日帰りで視察研修や料理講習会、隣のフレッシュユミズ部会との交流会と、様々なアイデアを出して親睦を深めました。

アカシヤ部会では、ボランティア活動をはじめ、スポーツレク、夏期と冬期の研修など、活発に活動してさらなる親睦を深めました。

今現在、世界各地の紛争等により世界経済が不安定化し、生産資材や物価の高騰など、農業経営はもとより、私達の生活環境も大変厳しい時代であると思います。しかし、この様な時だからこそ、家族が一致団結して協力し合うこと

が大事だと思えます。その中で私達女性も農業を支える一人として、それぞれが向上心や意見をもつて、農作業や経営にも携わることが大切だと思います。その為にも、さらなる知識の向上と仲間作りに励んでいきたいと思えます。

結びになりますが、JA清里町、ならびに各関係機関の皆様方には、今後とも変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、明るく希望に満ちた健やかな年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

### JA清里町女性部

部長 伊藤 清己

副部長 中平 かおり

書記 吉田 智子

書記 佐藤 美紀

會計 垂石 裕子

営農生活部 岩本 美香

文化体育部 矢口 麻美

監事 辺見 珠美

浅野 美保子

吉田 富美枝

南出 美希

西館 美恵子

フレッシュユミズ部長 泉井 歩

アカシヤ部会長 美恵子

# 第11回JA清里町収穫感謝祭開催

## 過去最多、546名が来場！ 地域の皆さまに日頃の感謝を還元



11月30日、第11回JA清里町収穫感謝祭をJA清里町駐車場で開催しました。

今年は悪天候により当初開催予定から延期開催となり、子ども向けイベントの変更もありましたが、過去最多となる546名のご来場をいただき、日頃の感謝を還元させていただくことができたと感じております。

催事内容は、「清里産農産物の販売」、さつまいも・にんじんなどの「野菜詰め放題」をはじめ、玉ねぎの重量を予想する「重量当てクイズ」、JA清里町の特産品である「清里切麦販売」や「清里生うどん調理販売」を行いました。

ステージイベントとしては子ども向けの「おかし積み大会」や、毎年恒例である「お楽しみ抽選会」を行いました。おかし積み大会は昨年より新たに企画したイベントですが、多くの子どもたちに参加していただけた大人気のイベントとなりました。お楽しみ抽選会では総額15万円相当が30名様に当たる収穫祭の一大イベントであり、多くのお客様にご参加

いただくことができました。また、ステージ上から常勤役員による「餅・お菓子まき」にも大変多くのご参加をいただきました。農協青年部の「清里ソース焼きそば調理販売」と農協女性部による「でん粉団子調理販売」ではどちらも完売することができました。

町内飲食店のご出店には、TOKO Cafe様の「野菜スープカレー」、おくちゃん農園様の「リンゴ・小豆の販売」、(有)澤田農場様の「焼肉弁当・キーマカレー」、和洋菓子のモンブラン様の「クレープ・生クリーム食パン」、合同会社みのり様の「豚丼・いももち」、テイクアウトキッチンコリン様の「厚切りロースかつ弁当・手作りチャーシュー弁当」、(株)清里麦香房様の「本格石窯ピザ」、鈴庵様による清里産小麦粉を使用した「お焼き・たこ焼き」の多くのご出店で、収穫感謝祭を彩っていただき、お客様から喜びの声もいただくことができました。

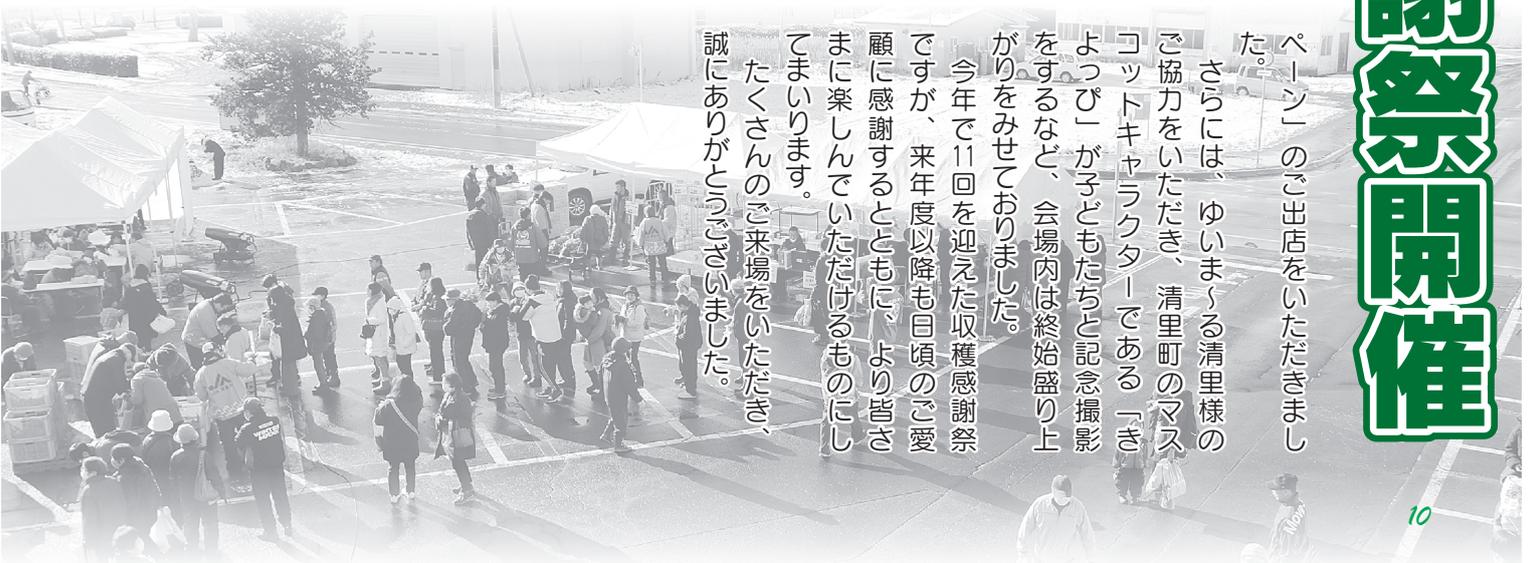
また、受付ブース横では桑原電装様による「docomoキャン

ペーン」のご出店をいただきました。

さらには、ゆいまゝる清里様のご協力をいただき、清里町のマスコットキャラクターである「きよつび」が子どもたちと記念撮影をするなど、会場内は終始盛り上がりをもせておりました。

今年で11回を迎えた収穫感謝祭ですが、来年度以降も日頃のご愛顧に感謝するとともに、より皆さまに楽しんでいただけるものにしてまいります。

たくさんのご来場をいただき、誠にありがとうございました。





野菜詰め放題では長蛇の列！



おかし積み大会  
「あぶない！くずれそう！」



お楽しみ抽選会  
「当選おめでとうございます！」



青年部による清里ソース焼きそば

女性部によるでん粉団子



町内飲食店ブース「多くのお客様でにぎわう」



餅まき「日頃の感謝を込めて」



お菓子まき  
「小さな子には手渡しで」

清里  
まよっぴも来たよ！

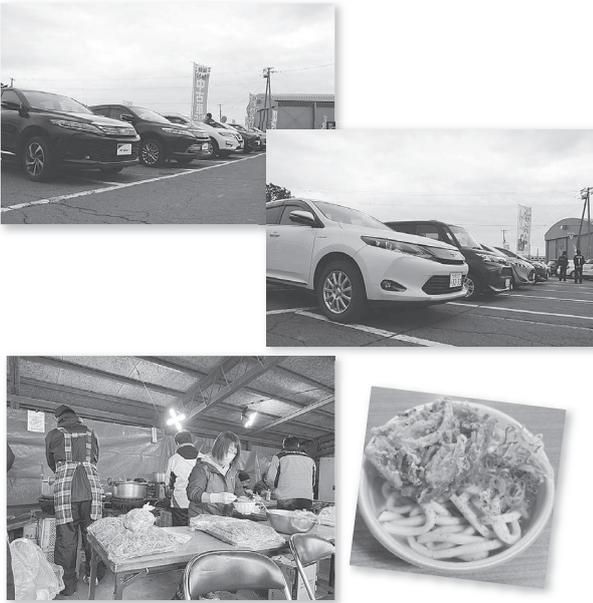
## 自動車展示会開催

11月22日・23日の日程で自動車展示会がJA清里町駐車場で開催されました。

例年、収穫感謝祭と同時開催としておりましたが、今年は悪天候のため収穫感謝祭が延期となり単独での開催となりました。

今年も全道各地から集められた優良中古車やミニシヨベル、大型トラックなどが多数取り揃えられたほか、様々な農機具やタイヤなどが展示され賑わいをみせておりました。飲食ではJA清里町の特産品である清里生うどんを使用した「清里かき揚げ温うどん」の販売や鈴庵様による清里産小麦粉を使用した「お焼き・たこ焼き」の販売を行い、お客様に体を温めながらゆっくりと自動車を見ていただくことができました。

来年度も、日頃からご愛顧いただいております地域の皆さまに質のいい優良中古車をご提供できるように努めてまいります。



## 農業資材センター

### 5周年記念セール

11月29日・30日の日程で農業資材センター5周年記念セールが開催され、30日は収穫感謝祭との同時開催ということもあり、多くのお客様にご来店いただくことができました。

今回のセールでは、本格的な冬に向けて防寒手袋やツナギ服をはじめ、ジェットヒーターなどが多数取り揃えられました。他にも(株)マキタの各種電動工具や整備用品、さらには今回の目玉商品ともなった焼却炉の実演販売などが行われ、盛り上がりを見せおりました。

今年で5周年を迎えられましたことは、組合員をはじめ地域の皆さまのご愛顧の賜物と感じ、これからも地域に根差した資材センターとなるよう職員一同努めてまいります。



## 全日本自動車整備

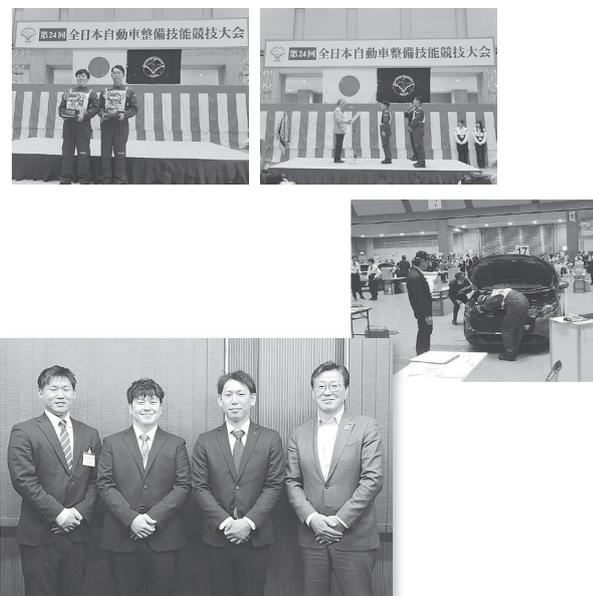
### 技能競技大会

### 全国一位に輝く

11月30日に東京ビッグサイトで開催されました、第24回全日本自動車整備技能競技大会において、北見代表選手として出場した当JA業務部燃料自動車課の佐々木主査と湧別町農業協同組合車両整備工場（遠軽支部）の廣井晃彦氏が1000点満点中945点を獲得し、全国から予選を勝ち抜いてきた47チームの中、見事全国一位に輝く快挙を達成しました。

全日本自動車整備技能競技大会とは、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会が主催する、自動車整備のサービス向上などを目的に1977年から2年に一度開催されており、整備の正確さだけを見るだけでなく、接客態度なども含めた全ての整備サービスを対象とした大会です。

全国優勝、おめでとうございます！



## 交通安全講習

12月4日、農協2階会議室にて斜里警察署地域交通課郷家課長を講師にお招きし、交通安全講習会を開催しました。

今回の講習会ではこれから迎える本格的な冬の恐怖しさやブラックアイスバーン時の制動距離などについて動画を交えて伝えていただくとともに、道内の事故状況などについて講習していただきました。

これから年末年始を迎え、車での移動も多くなつてまいります。冬道に合った安全運転を職員一同、心がけてまいります。



## 業務改革・改善提案表彰

11月19日、令和6年度の業務改革・改善提案制度において、実施検討案件に採用された提案者に対する表彰式が農協事務所内で行われました。

今年度は13件の提案が提出され、厳選な審査の結果6案件が実施採用案件に選ばれました。実施採用案件についてはこれから農協内部にて実施に向けた検討を重ねていく予定です。

### ★令和6年度実施採用案件★

- ① 禁煙の公用車の台数を増やす
- ② 職員に対する交通安全講習会の実施
- ③ ドライブレコーダーのSDカードデータ内の定期的なフォーマットとSDカードの定期的な更新
- ④ 分煙室の煙の流失について
- ⑤ 「3010運動」の実施
- ⑥ 給湯室の排水口の残飯について



## 廃プラリサイクル回収

11月19日と20日の2日間、わたり、農村環境保全産地の取り組みとして、神威製作センターにて本格的な冬到来前の廃プラリサイクル回収が行われました。

今回の受入戸数は組合員130戸(前年度実績127戸)、農ビ・農ホリなどの受入総重量は30,670kgとなり、段ボール(紙袋含む)の受入重量は3,320kgとなりました。

冬到来前の実施ということもあり、多くのリサイクル回収を行うことができました。

今後とも組合員各位の活動に対するご理解とご協力を宜しくお願いいたします。



## 永年勤続表彰

「永きにわたる努力に敬意を表して」

11月19日、管理部企画審査課野課長が入組以来30年の永きにわたって農協事業の進展に寄与されたことの功績が称えられ、「永年勤続表彰」を受賞しました。

表彰おめでとうございます！



## 年末・年始(正月)のATM稼働状況のご案内

年末・年始(正月)のATM稼働状況は、下記の通りとなっております。  
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

	JA清里町	コンビニ、ゆうちょ銀行、他JA(注)
12月30日(月)	通常営業 9時~17時	稼働：最長8時~21時 (コンビニATMは8時~22時)
12月31日(火) 1月5日(日)	休 止	稼働：最長8時~21時 ※休日扱いのため、手数料が発生します。 ※1月2日(木)は、システム更改のため、 コンビニATM8時~18時 他JAのATM8時~21時の稼働となります。 ◀ 取扱注意 ▶ 12月31日~1月5日の取引について、コンビニ、ゆうちょ銀行、他JAはご利用できますが、取扱店舗によってATMが稼働していない場合があります。
1月6日(月)	通常営業 9時~17時	稼働：最長8時~21時 (コンビニATMは8時~22時)

(注) 取扱店舗によっては、ATMが稼働していない場合があります。

### ◎キャッシュカード盗難・紛失の事故が発生した場合

連絡先：JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター  
TEL：0120-944-904(24時間受付)

### ◎JAカード(クレジットカード)盗難・紛失の事故が発生した場合

連絡先：ニコス盗難紛失受付センター  
TEL：0120-159-674(24時間受付)

現金のお引き出しはお早めに！

あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

## 年末・年始(正月)のJA共済からのご案内

年末・年始(正月)のJA共済の対応は、下記の通りとなっております。  
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

	JA清里町 共済課 窓口
12月28日(土)~1月5日(日)	休 日

### ◎自動車事故に見舞われた場合

TEL：0120-258-931(24時間・365日受付)

### ◎レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合

TEL：0120-063-931(24時間・365日受付)

安全運転を  
心掛け  
ましょう！

## 年末・年始の業務日程について

部門 月 日	事務所 資材センター でん粉工場	金融課	機械センター	給油所 (清里・札弦)	清里給油所 高速洗車機
12/26 (木)	<b>全 部 門 平 常 営 業</b>				
12/27 (金)	午前中営業	営 業	営 業	営 業	営 業 (9:00～17:00)
12/28 (土)	休 み	休 み	休 み	営 業	営 業 (9:00～17:00)
12/29 (日)	休 み	休 み	休 み	休 み	営 業 (9:00～17:00)
12/30 (月)	休 み	営 業	休 み	営 業	営 業 (9:00～17:00)
12/31 (火)	休 み	休 み	休 み	営 業 (清里8:30～12:00) (札弦9:00～12:00)	営 業 (9:00～12:00)
<b>1月1日(水)～3日(金)までは全部門休業</b>					
1/4 (土)	休 み	休 み	休 み	営 業 (10:00～15:00) (札弦休み)	営 業 (9:30～14:30)
1/5 (日)	休 み	休 み	休 み	休 み	営 業 (9:30～16:30)
1/6 (月)	<b>全 部 門 平 常 営 業</b>				

○エコーブきよさと店は年内無休。また、初売りは1月4日(土)9:30～19:00までの営業となっておりますので、ご利用宜しくお願い致します。

# JAへの就職希望者100%就職 (令和5年度実績)

## 令和7年度第3回学生募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年●寮完備(個室)●通学制開始
- 受験資格:満27歳未満(令和6年4月1日現在)/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:令和7年2月2日(日)●願書受付:令和7年1月6日(月)～1月24日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中求

令和7年度より  
通学制開始

JAグループ職員養成校  
**JAカレッジ**

一般財団法人  
北海道農業協同組合学校  
〒069-0834 江別市文京台東町43-1  
☎0120-918-417【JAカレッジ】で検索

# ☆中途採用職員をご紹介します！

令和6年12月1日付で中途採用となった職員をご紹介します。



名前 関根 深人 (せまね けいひと)  
 生年月日 平成10年5月26日  
 出身地 湧別町  
 出身校 青山建築デザイン・医療事務専門学校  
 趣味・特技 FPSゲーム、ボルダリング、読書  
 配属先 業務部燃料自動車課 清里給油所  
 抱負  
 この度、ご縁がありJA清里町スタンドアルパイトとして勤務させていただいておりますが、12月1日より準職員として採用していただきまして、右も左も分からない私ですが、皆さまから様々なことを吸収できたと思っております。新参者でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、宜しくお願い致します。

## JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

### 第7回「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そのため、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

#### 重要な当選順位

参議院選挙の比例代表には、様々な業界や団体が代表候補を送り出し、いかに多くの票数を獲得し、当選順位を上げるかということにどの団体も惜しみなく努力しています。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。

#### 過去の参議院選挙(比例代表)

2019年の自民党の比例代表の得票数順位を見てみると、第1位は郵政グループで60万票獲得しており、JAグループは約21万票でした。結果、郵政グループは悲願だった「貯金預入限度額の拡大」を実現しています。一方、JAグループの得票数は2022年の選挙の際には18万票まで減少してしまい、このままでは私たちJAグループの声、要望を実現することが困難になる危機的状況に陥ることになります。

#### 問われる組織力

このように選挙の結果、業界や団体ごとの得票数が分かります。市町村別にも得票数が公表されます。この得票数によって我々JAグループの力が測られることになります。つまり、参議院選挙(比例代表)は、我が国の農業、JAグループのための組織選挙であります。

#### 組織力の結集を!

多くの得票数を得て高い順位で当選した候補者は、政府・与党内での発言力が増し、政策の実現可能性が高まります。過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(最終回)は、「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について報告します。



#### 自民党 全国比例区 得票数順位 (2019年)

団体・業界	得票数	議員名
1. 郵政	60万票	柘植芳文
2. (漫画など)	54万票	山田太郎
4. 防衛関係	24万票	佐藤正久
5. 建設	23万票	佐藤信秋
7. JA	21万票	山田俊男

※2022年 18万票 藤木しんや



東野ひでき公式  
LINEアカウントへの  
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

# 理事会の経過を お知らせ致します



## 第12回

11月22日(金)

### 付議事項

- 議案第1号 令和6年産玉ねぎ及び長いもの融資単価の設定について
- 議案第2号 令和7年度固定資産取得の仮発注について
- 議案第3号 信用事業方法書(為替取引)の変更について

### 協議事項

1. 第11期総合5ヶ年計画の素案について

### 報告事項

1. 令和6年産てん菜の糖分状況について
2. 令和6年産原料てん菜の概算払いについて
3. 令和6年度ホクレン生乳生産対策支払い要綱について
4. 令和6年度でん粉工場操業の実績報告について
5. 令和6年産でん粉粕出荷実績について
6. 余裕金の運用状況について
7. 令和6年度会計監査人監査(期中Ⅱ)経過概要報告について
8. 内部監査(期中Ⅲ)の実施結果について
9. 経営定期点検(10月期)の実施結果について

## 第13回

12月6日(金)

### 付議事項

- 議案第1号 令和6年度期中値引き(奨励)の実施について

### 協議事項

- 議案第2号 令和6年産でん粉加工料の決定について
- 議案第3号 令和7年度固定資産取得に向けての仮発注について

### 報告事項

- 議案第4号 理事に対する供給限度額の変更について
- 議案第5号 令和7年度土地評価基準の設定について
- 議案第6号 令和7年度営農計画樹立に係る作物別単価の設定について
- 議案第7号 令和6年度給与改定について
- 議案第8号 従業員に対する12月期賞与の支給について

### 協議事項

1. 令和7年度事業運営方針(案)について

### 報告事項

1. 麦作センター運営要領の改正について
2. 自動車展示会の実績報告について
3. 与信取引に関する利用者への説明態勢にかかる規則の一部

## 組合員状況

〈令和6年12月1日現在〉

■組合員数		〈前回報告より〉	
正組合員 (個人)	209名	(変動なし)	
〃 (法人)	18法人	(変動なし)	
准組合員 (個人)	1,330名	(変動なし)	
〃 (法人)	0法人	(変動なし)	
〃 (団体)	17団体	(変動なし)	
(合計)	1,574		



4. 改正について  
「マネロン・テロ資金供与対策」に関する取組状況について(令和6年9月末基準)
5. 第11回収穫感謝祭の実績報告について

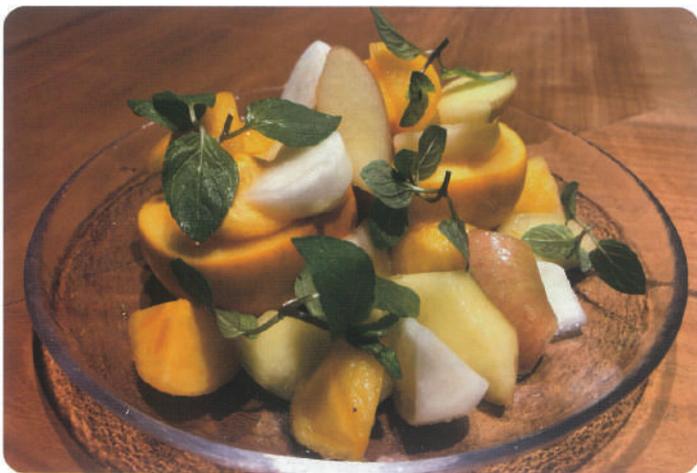


# シェフ永井の おすすめ

永井智一（ながい・ともかず）  
茨城県笠間市にある  
「天晴（旧キッチン睡人）」  
オーナーシェフ



## 柿のレモンマリネ



### 材料（2人分）

- 柿（種なし）……………2個
- カブ……………1個
- リンゴ……………1/2個
- ミント……………適宜
- マリネ液
  - レモン汁……………大さじ2
  - オリーブ油（エクストラバージン）……………小さじ2
  - 塩……………小さじ1/2

### 作り方

- (1)種なし柿で釜を作る。柿をふたと器に切り分ける。器の中身は丸くくり抜いてから4等分に切る。
- (2)カブは皮をむき、厚さ5mmの半月切りにして塩水（分量外）に漬け1時間ほど置く。柔らかくなったら水気を切る。リンゴは厚さ5mmの半月切りにする。
- (3)ボウルでマリネ液の材料を混ぜ合わせ、(1)の柿の中身、(2)のカブとリンゴを入れて30分ほど味をなじませる。
- (4)(1)の柿の器を置き、(3)のマリネを盛り付ける。(1)の柿のふたとミントを飾り出来上がり。



## 海老すり身揚げ 点心仕立て

### 材料（4人分）

- 赤エビ……………10本
- 水……………400ml
- 生クリーム……………100ml
- 片栗粉……………大さじ1/2
- 塩……………少々
- こしょう……………少々
- タマネギ（みじん切り）……………1/2個
- 春巻きの皮……………4枚
- 揚げ油……………適宜
- ミニトマト……………4個

### 作り方

- (1)赤エビは身と頭に分け、頭の部分を使ってだしを取る。頭と水を鍋に入れ、強火で沸かし半分煮詰め、生クリームと合わせてソースとする。身は殻をむき、背わたを取り包丁でたたく。
- (2)ボウルに(1)の赤エビの身、片栗粉、塩、こしょう、タマネギのみじん切りを入れ、粘りが出るまで混ぜ合わせる。4等分にして丸く形を整え、細切りにした春巻きの皮を付ける。
- (3)170度に熱した油で(2)をきつね色になるまで揚げる。
- (4)(1)のソースを塩、こしょうで味を調え、熱して器に流し、(3)とミニトマトをのせ出来上がり。